

一昭和34年に基づいてそのような特異な進路をとった11箇の台風をえらびだして示したものである。この20年間に、もちろん正常な経路をとったものの方が多いのであるが、それらはここには説かないこととする。いま日本列島を横ぎつたり、近ずいたりしたときに、顕著な経路の変化がおこった11箇の台風を選んでしめたものである。さて第2図と第3図にのっている。

| | |
|--------|--------------|
| 1942年 | 22号 |
| 1943年a | 12号 |
| 1943年b | 26号 |
| 1646年 | 9号 |
| 1954年 | 12号 (June) |
| 1959年 | 7号 (Georgia) |

などは、まず日本列島へ南から近づくとき、まず足踏みして高気圧性なまがり方をしはじめるが、日本列島を横切り、横断したのちは正常経路とは反対の曲率をもつように反りかえった進路をとっていることがわかる。第1図と合せ考えるならば、台風の進路は日本列島を横切つたときに気流のうける変形のような形をとっていることが

わかる。こゝようにして、(1)地形による気流の変化、(2)乙型低気圧、ならびに(3)地形による台風進路の変形が共に同じ機構によっておこっていることを知るのである。

また第2図と第3図にのっている。

| | |
|-------|-------------|
| 1940年 | 21号 |
| 1948年 | 21号 (Jones) |
| 1953年 | 6号 (Mamie) |
| 1955年 | 25号 (Nora) |
| 1958年 | 21号 (Helen) |

などは、日本にちかずにいてから、日本列島の海岸沿いに東に走り、関東地方の海岸をすぎると、進行方向を北にむけて、再び日本列島沿いに進んでいる。こうして日本列島の太平洋岸にピッタリ沿って進む型は、前にのべた日本列島を横切つてから、そり返った進路をとる型の機構と関連し乍ら起っているように思われるのである。

文献

- J. Holmboe, G.E. Forsythe and W. Gustin :
 Dynamic Meteorology, 1945, P. 326.
 気象庁編：台風経路図, 1940—1959.

気象界消息

1. 関口氏米国に出張

本学会会員の関口理郎氏は、成層圏気象の研究、および人工衛星による対流雲形の研究のために、1年間の予定でアメリカ合衆国のオクラホマ大学に出張され、11月27日出発される。

2. 今年も暖か

今年(1961年)も暖かに過ぎようとしている。東京における1月以来の月平均気温はつぎの通りで、何位とあるのは過去の記録で見た気温の高い方からの順位である。括弧内の値は平年値を示す。

| | | | |
|----|---------------|----|---------------------|
| 1月 | 3.6°C (3.2°C) | 4月 | 14.9°C (12.8°C) |
| 2月 | 4.5°C (3.9°C) | 5月 | 19.8°C (17.2°C) 第1位 |
| 3月 | 8.2°C (7.0°C) | 6月 | 22.6°C (20.8°C) |

| | | | |
|----|---------------------|-----|---------------------|
| 7月 | 27.4°C (25.1°C) 第3位 | 10月 | 18.3°C (16.4°C) 第1位 |
| 8月 | 26.8°C (26.4°C) | 11月 | 12.7°C (11.0°C) 第3位 |
| 9月 | 25.3°C (22.6°C) 第1位 | 12月 | |

年間の平均値の記録はつぎの通りで、戦後に記録は相ついで更新されている。

| | | | |
|-----|---------------|-----|---------------------|
| 第1位 | 15.7°C (1959) | 第4位 | 15.1°C (1950, 1948) |
| 第2位 | 15.5°C (1955) | 第5位 | 15.0°C (1942, 1890) |
| 第3位 | 15.2°C (1958) | | |

平塚氏によると、1月から12月までの値から計算した結果、12月の平均がもし5.5°C以上ならば今年が最高記録となる。ところが同氏の調べによると、12月の平均が5.4°C以下となる経験的確率は、6/16であるから、今年が最高となる公算は大である。